



平成 23 年 5 月 24 日

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

( 22 年度 )

事業名 : 図書館とともだちになろう (図書館振興) 事業 担当課名 : 中央図書館

市民活動団体名 : 図書館とともだち・鎌倉

評価項目		役割担当	市民活動	行政担当	理由
			団体	課	
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	△	△	協定書の内容を見直す機会を作らなかった
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	△	△	新たな話し合いをしなかった
3		事業の協定書の内容は充分であったか	△	△	事業内容の、今後の継続を踏まえた内容になっていなかった
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	△	△	託児も予定していたが、周知不足から応募がなく実施しなかった
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	△	△	個々の事業については概ね解決できたが、次年度以降には、十分な形で継続できなかった。
9	事業実施結果	設定された目標 (評価項目) は達成されたか	△	△	託児、障がい者サービス (手話通訳等) は予算化していたが、実施しなかった
1 0		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
1 1		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
1 2		定められた役割分担は守られたか	○	○	
1 3		市民サービスは向上したか	○	○	新たな利用者を増やしただけでなく、従来からの利用者にも、図書館の役割や可能性にも気づいてもらえたが、図書館利用が困難な市民の利用を促す働きかけがまだ不足している。
1 4		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	企画段階から協議し、協力して実施することで、倍以上の力を発揮できた。

1 5	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	<p>(まとめ)</p> <p>数多くの振興事業を行い、1000人を超える参加者があった。寄せられた数多くの感想から、市民に歓迎され受け入れられていることが分かった。</p> <p>協働したことで、市民の図書館への信頼感の強さも分かった。そこに市民の視点が加わることで、より市民に寄り添った企画ができ、幅広いサービスにつながった。</p> <p>3年間の事業が終了し、次年度からは振興事業予算はゼロにもどる。新たに始めた市民サービスが低下することのないよう、引き続き努力と工夫が必要である。</p>
-----	---------	--	---

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由蘭は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 市民活動課 市民活動推進担

電話23-3000 内線2311